

ハンドボール

スローオフチーム 三重県



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 62

No. B7 (16名用)

A	富山県	三重県	B
合計	32	15 17 13	24

大会名	第67回国民体育大会 ぎふ清流国体			
開催年	平成24年	10月5日	会場	飛騨世界生活文化センター
種別	少年	男	回数	第1回戦 準決 決 リーグ

A 大森 聡 7m TC B 蛭川 健司

A	富山県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	大森 聡				22	07	
役員B	大橋 伊都子						
役員C	蛭川 裕二				得点		
役員D	石田 光				前半	後半	
1	平井 悠菜						
2	林 のぞみ						
3	佐々木 春乃			正	F	8	
4	森 優稀			-	T	3	
5	奥田 結菜				-	1	
6	土平 瑠香			F	F	8	
7	長江 瑠香			T	-	3	
8	松塚 美月				T	2	
9	三浦 みづ美				-	F	
10	北原 佑美				T	3	
11	檀木 拓穂						
12	宮本 莉奈						
合計					15	17	22

B	三重県	警告	退場	失格	チームタイムアウト		
					前半	後半	
役員A	蛭川 健司				8	40	
役員B	池本 聡						
役員C	丸山 竜司				得点		
役員D	大平 麻由				前半	後半	
1	山下 かつ						
2	玉川 怜花						
3	岡田 夕佳			正	ET	12	
4	川谷 美佳						
5	松岡 友美			T		2	
6	服部 沙紀						
7	鈴木 歩乃佳			-		1	
8	前川 華子						
9	島居 宏河			T	F	6	
10	鈴木 佑希					2	
11	太田 真歩					1	
12	小倉 楓						
合計					11	13	24

前半				後半			
A	結果	得点	時間	B	結果	得点	時間
3		1	00	44	6	16	00
4	W	01	12		10	0	17
10		2	1	34	6	18	2
			2	07	1	5	
7		3	2	40			6
			2	50	W	3	9
			3	24	2	9	3
9		4	3	56			10
			6	16	3	3	8
3		5	7	02			9
4		6	7	50			10
6		7	8	35			9
			8	40	①		6
			8	58	4	3	21
			10	22	5	5	10
6		8	13	42			6
3		9	15	40			4
6		10	16	46			10
			17	19	6	3	8
10		11	17	50			4
			18	18	7	3	7
6		12	20	05			26
			20	45	8	10	17
			21	57	9	3	17
①			22	07			19
3			22	50			20
3			23	40			21
			24	16	10	7	17
7			24	50			29
3			27	13			30
10	W		28	06			23
			29	53	11	7	23
15				11			
							26
							27
							27
							28
							29
							29
5			32	29	52		

特記事項

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告

No. 63

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日 (金)	試合記号	Bウ	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	飛騨・世界生活文化センター		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
富山県			三重県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
32	15	前半	11	24	
	17	後半	13		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 高橋干津子

1回戦、富山県は、長身の両エース10番北原3番佐々木がロングシュートをそれぞれ決め、つめてきたディフェンスの下のスペースを7番ポストの長江が攻めるとい組み立てを軸に、前半10分までに7得点。一方、三重県は9番サウスポーの島居のサイドシュート、3番岡田のミドルシュート、5番松岡のポストシュートなどで5得点。速攻は互いによく戻って守り、フリースローやインターセプトで凌いだ。前半15分過ぎ、追いつきたい三重県は、セットプレーでダブルポストからチャンスをついて、粘り強く攻め22分、3点差まで詰め寄ったところで、富山県がタイムアウトを取り、立て直しを図る。その後、3番佐々木を中心に富山県が反撃し、前半を4点差にして折り返した。

後半に入り富山県はディフェンスラインを上げ三重県にプレッシャーをかけて守り、攻撃では左45°を3番佐々木と7番長江が攻めてディフェンスを引きつけて右に展開、6番土平が立て続けにサイドシュートを決めた。三重県はサイド・ポストと小さくパスをつないで攻め、3番岡田のミドルシュート、9番島居のサイドシュートなどで必死に下がるが、徐々に引き離される苦しい展開となった。富山県はポストに入った9番三浦をからめながら攻め、三重県の追撃を許さずに勝利し準々決勝に進んだ。敗れはしたが、三重県は体格差のある富山県に対して足をつかって最後までよく守り、エース3番岡田が12得点を挙げるなどして活躍した。